

---

# 目覚めの炎

glass

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

目覚めの炎

### 【Nコード】

N3287Z

### 【作者名】

glass

### 【あらすじ】

人類のすべてが未知なる力 パワー に目覚めた世界。

親友が強大なサイキックに目覚め、憧れていた女の子が獣の姿に変身する様子を目の当たりにする主人公。

しかし、主人公には何も目覚めない。

両親ですら、実の弟ですら パワー に目覚めたというのに。

取り残されたような気持ちを抱きつつも、何も持たないたった一人の人間として、懸命に生き抜く少年の物語。

なにから書いたらいいのだろうか。

と、パソコンの前で固まってしまふ俺。

わかってもらえるのだろうか、と。

果して伝わるのだろうか、とつい手が止まる。

誰も理解してくれないかもしれない。

うお……それは結構こたえるなあと思いつつも、それでも俺は書か  
ずにはいられない。

この世界で俺がつかんだもの。

きつと真実だと思ふもの。

さあ音を鳴らせ。

パワーアンプに電源を入れろ！

暗い体育館で、俺は目の前のPA卓に手を伸ばす。

こんなデカイ卓を使わせてもらえるなんてラッキーだった。

「お前そんなカッコしておいて、演奏はその程度か!？」

本音が出そうになりつつも、モニタースピーカー越しに、軽音部の  
チャラ男に音出しの指示を出す。

もうすぐライブ本番だ。ようやくこの卓にも慣れてきた。この卓は  
なかなかいいもので……いや、とにかく、俺が書かなきゃいけない  
のはそんなことじゃない。

このPA卓がどれだけいいものだったとしても、みんなにはそんなこと無関係だ。

問題の、ライブ本番に話を移そう。

あれは高校の文化祭、最終日。

俺は即席PAとして、音の最終調整をしていた。

生バンドと言っても、アンプがクソじゃあライブは盛り上がりがない。やっぱり音はガンガンに鳴らさなきゃ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3287z/>

---

目覚めの炎

2011年12月11日12時46分発行